



きゅうしょくニュース

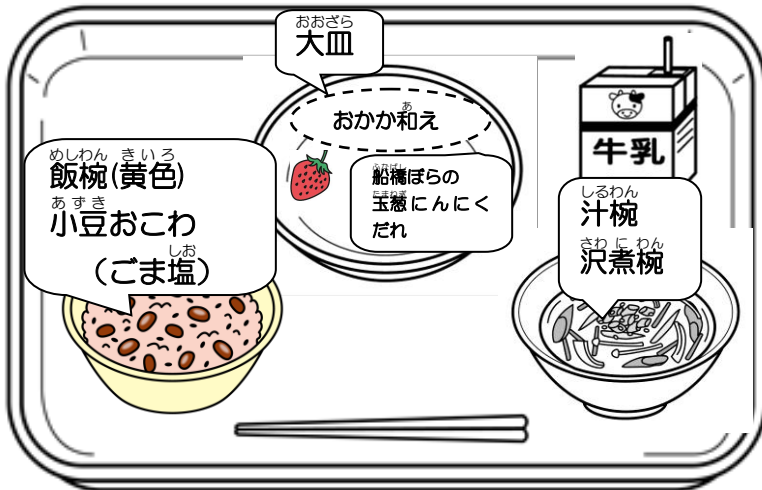


れいわ ねん がつ にちげつようび
令和6年1月15日月曜日

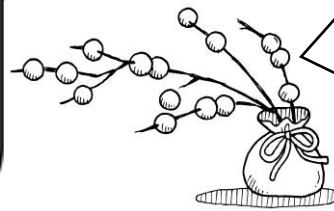
きょう こしょうがつ いちご ひ
今日は「小正月」 & 「苺の日」



いばらきけんさん
茨城県産の
「とちおとめ」



あすきがゆ
小豆粥



1年の豊作を祈り、
小正月に飾られる「餅花」
実った稲穂に見立て、
小さく切った餅を枝に指し、
束にして飾ります。
お餅ではなく繭を使い、
「繭玉」と呼ぶ地域も。

こしょうがつ がつつたち ちゅうしん しょうがつぎょうじ おおしょうがつ
「小正月」とは、1月1日を中心とした正月行事の「大正月」
たい がつ にち おこな ぎょうじ
に対し、1月15日に行われる行事のことをいいます。

むかし にほん つき み か かげつ きじゅん く
昔の日本では、月の満ち欠けを1ヶ月の基準として暮らしてい
ました。そのため、満月となる旧暦の1月15日を「1年の始まり
しょうがつ いわ むかし にほんじん
である正月」として祝っていました。これは、昔の日本人が
まんげつ かんが ゆらい
「満月はめでたいものだ」と考えていたことに由来するそうです。

こしょうがつ むかし あすき い
小正月には、昔から、小豆を入れたおかゆや、ぜんざいなどを
た ふうしゅう あすき あか た もの じゃき はら
食べる風習があります。「小豆のような赤い食べ物は邪気を祓う」
かんが ねん けんこう いの い み
と考えられているので、1年の健康を祈るという意味があります。

きゅうしょく ほっかいどうさん あすき い た
給食では、北海道産の小豆を入れたおこわを炊きました。

いちご ひ いちご
また、「苺の日」でもあるので、デザートは苺にしました♪

きょう きゅうしょく つか ちばけんさん た もの
☆今日の給食に使っている千葉県産の食べ物☆



こめ ごめ ぎゅうにゅう にんじん み ば ふなばししさん こまつな
米 もち米 牛乳 人参 三つ葉 船橋市産→ぼら 小松菜